



「ジャスミン」と聞いてなにを思い浮かべるでしょう。ディズニー映画アラジンのヒロインの名前、香水の材料、香りがよく健康的なジャスミンティーなど、耳にする機会も多い花です。

カンボジアでは仏教行事には欠かせず、観賞用や芳香の役割にも使える生活に最も密着した花でもあります。信号待ちしてる車やバイクが売り子さんからジャスミンの花輪を買っている微笑ましい光景もよく見かけます。

今回ご紹介するのは、そのジャスミンの花輪を毎日150個以上作って売っているというセウ・キアさんです。

縫製用の針を何倍にも大きくしたような穴付きの針にジャスミンの蕾を刺していくのですが、蕾の大きさのバランスを見ながらキレイに互い違いに揃えるのは難しそうです。10年以上この仕事をしているキアさんは手際よく刺して行って蓮の茎を乾燥させて細く裂いたものを糸代わりに通して結ぶことで綺麗な輪ができていきます。



新型コロナの感染者が多い時期にはやはり売上も落ち込み、息子さん夫婦の働いていた工場も閉鎖されて大変だったということですが、今はまた以前と同じ様に皆さん買ってくれるのと、規制があって控えられていた結婚式などの法事での需要が一気に再開してきているので、花の蕾や出来上がった花輪を大量に保存する冷凍庫や運搬に使うバイクの購入のためにライスマのローンを利用させていただきました。



息子さん夫婦もまた別の工場に再就職できたということで、昼間お孫さんの世話をしながらの仕事になりますが、工場の工賃よりもアタシのほうがよっぽ



ど稼いでいると自信たっぷりに語ってくれました。



新型コロナも収まってきて普通の生活が戻ってきている感じのカンボジアですが、ここから再出発を頑張るカンボジアの皆さんをライスマも応援して参ります。